

令和 6 年度御嶽山飛驒頂上付近火山防災シェルター設置工事計画

目的

平成 26 年の噴火により甚大な被害が発生したことを踏まえ、万が一岐阜県寄りもしくは岐阜県側で噴火した場合の安全対策が必要です。

飛驒頂上付近には、五ノ池、御嶽教飛驒頂上神社、五の池小屋があり、飛驒頂上付近は多くの登山者が滞留する場所となっています。

近年、季節、五の池小屋の営業期間に関係なく 1 年を通して登山者があり、冬期においても飛驒頂上付近への登山者があります。このことから、これらの登山者が素早く避難できる施設として、継子岳方面の登山者に対してもよく視認できる避難施設として、また、冬期及び五の池小屋が閉鎖している期間の避難施設として、火山防災シェルターを設置するものです。

事業概要

- 火山防災シェルター設置
 - ・鋼製噴石避難用シェルター
 - ・間口 2.5m×延長 4m（予定）
- 設置時期
 - ・令和 6 年 9 月から 10 月初旬を予定
- 設置場所
 - ・御嶽教飛驒頂上神社の北西側

設置予定シェルター（同型）

